

市有財産売却媒介
制度の創設について



菊池 久光 議員



質問…市の所有する財産の処分に関し、新たな手法として市有財産売却媒介制度を創設し、民間活力を導入すべきかと考えます。市有財産売却媒介制度創設の進捗状況について伺います。

答弁…公売物件の売れ残りが課題となっていたことに対し、令和3年12月の市議会定例会の一般質問において菊池久光議員から提案をいただき、制度創設に

向けて検討してきました。本制度の創設については、これまでに先進事例の調査を行ってきたところですが、どの自治体においても、基本的には宅地建物取引業界団体等と協定を締結した上で媒介を依頼し、売却した際の成功報酬を設定しているようです。本市にとりましても有効な制度と認識していますことから、今後関係団体などの詳細

な協議を進めまして、本年度の市有財産公売実施に合わせて運用できるよう、現在制度創設を進めているところでございます。

質問…いつ頃になりますか。

答弁…今回の制度については7月に案をつくりまして、その後協議、実施要領などを策定し、12月には制度を創設したいと考えています。

一般質問



高瀬 重嗣 議員



相馬市長の市政に
対する基本方針について

質問…第三者委員会というのは、内部では対処、根絶できない、自浄能力に欠ける組織が必要とするものであって、本市がそれに当たるとは到底考えられない。市長はどの場面で用いるのか伺います。

答弁…市の単独予算や、支出を多く出しているものについて検証してもらおうということです。

質問…地方自治の根幹である市

の予算、補助金の使い方や第三者に任せるといえるのは根本から間違っていないか伺います。

答弁…絞り込んだものを財政健全化検証委員会に見ていただきたいと考えています。

質問…事業仕分け実施委員会の活用ではいけないか伺います。

答弁…事業仕分けではなく、事業に対して踏み込んだ答を見出して市政に生かしていきたいと

考えています。

質問…無駄と判断した事業名を具体的に伺います。

答弁…具体的に想定しておりません。

質問…想定していないのに広報に無駄な事業を見直すと書いたのか伺います。

答弁…市民から寄せられた声の中にあったので、具体的な公約に掲げたものではありません。

低出生体重児対策
について



大豆生田 春美 議員



質問…「リトルベビーハンドブック」を作成すべきと思いますが、考えを伺います。

答弁…小さく生まれた赤ちゃんの記録に対応できる取組として、全国的にリトルベビーハンドブックを作成している自治体が増えてきています。リトルベビーハンドブックでは、例えば体重の目盛のスタートはゼロからであり、また先輩保護者達か

らのメッセージや低出生体重児に即した育児情報も掲載されるなど、様々な工夫がなされ、母子健康手帳を補完するものです。市としても、小さく生まれた赤ちゃんとその家族の気持ちに寄り添った、親切かつ大変有効な方法であると認識しています。

質問…市で作ることは考えていないのか伺います。
答弁…手にしたご家族にご満足

いただけるような情報、専門性の高い手帳を作成していくということでは、市単独での作成は少し難しいと考えています。

質問…本県ではまだ作成されていないため、リトルベビーハンドブックを作成して下さるよう要望して頂けるか伺います。
答弁…県で作って頂けるように、是非要望してまいります。

一般質問



大塚 正義 議員



那須合同庁舎建設に係る市民への影響について

質問…令和5年1月竣工予定の新那須合同庁舎近隣の通行量増加に伴い、周辺道路は、小中高の通学路でもあり、千葉県八街市の事故事例もあることから、事故防止の観点からも竣工前に整備完了が望まれるところで、後手に回らぬよう、尚且つ「安全、安心な大田原」のため調査及び施工が必要と思われます。そこで周辺歩道及び信号機の整備等、

市の対応について伺います。

答弁…通行量が増大することで、特に小学生の通学路の安全確保に努めることが重要であります。合同庁舎周辺の市道については、既に歩道も整備され、歩車道が区分されていない道路においてはグリーンベルトを設置しています。また、住宅地内の生活道路については、信号機の設置や通行規制をするなどの対策は必

要と思われます。今後については、大田原市通学路交通安全プログラムに基づき、各学校からの依頼を募った上で、地域の方々と学校をはじめ、道路管理者、警察などの関係機関と連携した通学路の交通安全確保に係る合同点検により、通学路の安全対策に努めてまいります。